事業評価に係るバックデータ

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P ・ その他の別
国道158号	大野油坂道路 (和泉・油坂区	∟=15.5km	高規格B	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
4, 500	2車線	近畿地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成23年度	
単純合計	566億円	162億円	729億円
基準年における 現在価値 (C)	405億円	47億円	452億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	숨 計
基 準 年		平成2	23年度	
供用年		平成3	34年度	
単年便益 (初年便益)	28.8億円	6. 5億円	0.55億円	36億円
基準年における 現在価値(B)	416億円	97億円	7. 5億円	521億円

③ 結 果

費用便益比(B/C)	1. 2
経済的純現在価値(B-C)	68億円
経済的内部収益率(EIRR)	4. 5%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名:大野油坂道路(和泉・油坂区間)

(推計時点 H42年)

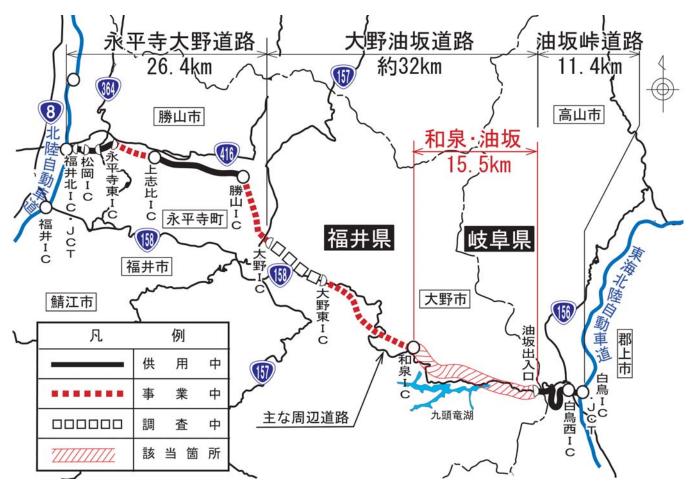
				整備なし(A)	整備あり(B)
1)≠₽≣₽	·改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	4, 500
①刺取:	' 以采担的	走行時間 ^{※2}	[分]	0	16
(15.	5 km)	走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	16. 60
	国道158号	交通量	[台/日]	3, 300	200
	国坦130万	走行時間	[分]	30	25
	(18.5 km)	走行時間費用	[億円/年]	24. 13	2. 09
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
②主な周		交通量	[台/日]	0	0
辺道路 ※4		走行時間	[分]	0	0
**4		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
	也道路合計 97.4km)	走行時間費用	[億円/年]	178, 024. 27	177, 999. 45

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 25, 531. 4km 走	行時間短縮便益	[億円/年]	178, 048. 40	178, 018. 15	30. 25

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。 ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。 ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 大野油坂道路(和泉・油坂区間)

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	
	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	•
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	平成23年
	交通流の	1時点のみ推計	■ (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	□有 □無
	1年前 の1人が	いずれかのみいずれかのみの推計とした理由を記載	
		の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
	 - - 	(三段階推定法)	(H17センサスベース)
	推計に用いた OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
	のし衣	(四段階推定法)	
		その他()	
交		無	
通	nn =	有	
流	開発交通量の	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推	考慮	有の場合のみ考慮した理由を記載	
計			
		Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
	配分交通量の	小規模事業である	П
	推計手法	間易手法の「山田女」を出立てはないさいよい。	П
		採択理由 山间部海岸部で併行追路が少ない その他()	
		簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
		その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載	
	\ 		
	速度設定の 考え方		
	与 人 刀	最終配分の速度	
		採用理由を記載分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の	の適用に併せて、
		最終速度を採用。	
		その他()	

			項目	チェック	欄
		考慮しない			
		考慮する			
	// = + = -		面的に考慮		
	休日交通の		対象路線のみ考慮		
	影響	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	()	%
		一切口 のか	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えた	すを記載	
		考慮しない			
		考慮する			
		5 5. ;	採用した通行止め日数	()	日
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載		
	通行止めの 影響	考慮する			
	お音	場合のみ	とり止め交通を考慮する		
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合し	よその考え方を	·記載
		考慮しない			
		考慮する			
		- 5 MEX 7 G	採用した冬期日数	()	日
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載		
庿	影響	考慮する			
便益		場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係		
の			設定の考え方を記載		
の算定					
足	交通流推計の	ブロック別・車	- 『種別走行台キロの伸び率による設定		
	時点以外の	その他			
	便益の算定	()		
		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用		
	車種別時間	独自に設定し	た値を使用		
	価値原単位				
		費用便益分析	ffマニュアルの値を使用		
	車種別走行	独自に設定し	た値を使用		
	経費原単位				
	交通事故減少	中央分離帯(D有無を考慮		
	便益算定	中央分離帯(D有無を考慮しない		
	走行時間短縮·走	考慮しない			
	行経費減少•交通	考慮する			
	事故減少以外の便		算出根拠を添付すること)		
	益				
	その他	-			

事業名: 大野油坂道路(和泉・油坂区間)

(4)

		項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	
費		その他()	
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
の	推付 自 任 其	既存路線の実績を参考に設定	
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
定	その他		
4.	その他		

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

所名:大野油坂道路	↑(和泉•洮	出攻区間)		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円
		割戻率	事業費	(6日)	15.5 維持管理	3.4 弗 <i>(</i> 奈田)
年次	年度	刮厌华	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
<u> </u>		4 0.9615			中和111111111111111111111111111111111111	現在 Ш他
	H 2		0.95 1.90	0.92 1.76		
	H 2		1.90	1.69		
	H 2		1.90	1.63		
	H 28		5.71	4.70		
	H 2		22.38	17.69		
	H 30		89.52	68.03		
	H 3	_	100.48	73.42		
<u> </u>	H 3:		182.86	128.48		
<u> 1 日</u> -1年目	H 3		158.77	107.27		
供用開始年次	H 34		100.77	107.27	3.25	2.1
1年目	H 3				3.25	2.0
2年目	H 30				3.25	1.9
2年日 3年目	H 3				3.25	1.8
	H 3				3.25	1.8
5年目	H 3				3.25	1.7
6年目	H 40				3.25	1.6
0年日 7年目	H 4				3.25	1.6
	H 4				3.25	1.5
9年目	H 4:				3.25	1.4
	H 4				3.25	1.4
11年目	H 4				3.25	1.3
12年目	H 40				3.25	1.3
13年目	H 4				3.25	1.2
14年目	H 48				3.25	1.2
15年目	H 49				3.25	1.1
16年目	H 50				3.25	1.1
17年目	H 5				3.25	1.0
18年目	H 5:				3.25	1.0
19年目	H 5				3.25	1.0
20年目	H 54				3.25	0.9
21年目	H 5			-	3.25	0.9
22年目	H 50				3.25	0.8
23年目	H 5				3.25	0.8
24年目	H 5	1 1			3.25	0.8
25年目	H 59				3.25	0.7
25年日 26年目		1 1			3.25	0.7
20 <u>年日</u> 27年目		+ +			3.25	
2/平日 28年目	H 6				3.25	0.7 0.7
20年日 29年目	H 6				3.25	0.7
30年目	H 6				3.25	0.6
30年日 31年目	H 6	_			3.25	0.6
32年目	H 6				3.25	0.6
33年目	H 6				3.25	0.5
33年日 34年目	H 68	-			3.25	0.5
34年日 35年目	H 69	1 1			3.25	0.5
36年目	H 70				3.25	0.5
37年目	H 7				3.25	0.4
38年目	H 7:				3.25	0.4
39年目	H 7:				3.25	0.4
40年目	H 7				3.25	0.4
41年目	H 7				3.25	0.4
42年目	H 70				3.25	0.4
43年目	H 7				3.25	0.3
44年目	H 78				3.25	0.3
45年目	H 79	1 1			3.25	0.3
45年日 46年目	H 80				3.25	0.3
47年目	H 8				3.25	0.3
48年目	H 8:	+			3.25	0.3
48年日 49年目	H 8		-3.50	-0.33	3.25	0.3
	[II 0-	0.0301	562.89	405.26	162.38	47.1
H FI			302.00	100.20	102.00	77.1

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定	[定表					箇所名: ブ	大野油坂道E	大野油坂道路(和泉·油坂区間)	区間)			ľ	- / - / - / - / - / - / - / - / - / - /				1	<	-
年本	年度	きま行台もの	年次別伸7	掛	割引率		Ħ	元 1 年 回 使 4 (億 日)				Ŕ	た な な 対 位 が (徳 田)			事 (衛	事 及減少使制 (衛田)	(m) (m)	Ē
	車田	(近畿内陸ブロック) 類 小型貨物 普通貨物 ・	をブロック) 普通貨物	4	€		小型貨物	邮油信物	- ti	現在価値 ①×(A)		小型信物	地油品	0) <u>‡</u> +	現在価値 ②×(A)	@	現在価値 ③×(A)	便益合計	現在価値 割引率4%
供用開始年次 H:	Ħ	-		181	0.6496	12.62	2.34	13.80		18.44	1.60	0.45	4.40	6.45		0.55		9	22.92
1年目 H 35	4		1.01501		0.6246	12.60	2.33	14.01	28.95	17.84	1.60	0.45	4.47	6.51		0.55			22.20
	36 0.99898	0.99542	1.01478	_	0.6006	12.59	2.32	14.22	29.13	17.27	1.60	0.44	4.53	6.58					21.49
4年日 日38	-	╙	1.0143/	1 00135	0.5553	12.57	230	14.43	29.32	16.71	1.90	0.44	4.60	6.00	367	0.55	0.30	36.76	20.01
5年目 H:	0		1.01416	L	0.5339	12.55	2.29	14.85	29.69	15.64	1.60	0.44	4.73	6.77					19.50
エ	0		1.01396	Ш	0.5134	12.54	2.28	15.06	29.88	15.14	1.59	0.43	4.80	6.83					18.88
	41 0.99898	8 0.99531	1.01377	1.00135	0.4936	12.53	2.26	15.28	30.07	14.65	1.59	0.43	4.87	6.85					18.27
8年目 H 42	0	Ц	1.00195	Ц	0.4746	12.51	2.25	15.49	30.25	14.17	1.59	0.43	4.93	6.96		0.56			17.69
	+		1.00195	0	0.4564	12.41	2.24	15.52	30.16	13.59	1.58	0.43	4.94	6.95					16.96
	4		1.00195		0.4388	12.30	2.23	15.55	30.07	13.02	1.56	0.43	4.95	6.94					16.27
	45 0.99125	7 0.99357	1.00194	0.99384	0.4220	12.19	2.21	15.58	29.98	12.49	1.55	0.42	4.96	6.97	2.89		0.23		15.60
13年目 日 40	+	┸	1.00194	1	0.4057	11 98	2.20	15.64	29.89	11.97	1.52	0.42	4.97	6.93				37.36	14.90
14年目 H 48	ł	L	1 00 193	L	0.3751	11.87	2.17	15.67	29.23	11.00	1.51	0.41	4.99	6.9	2.56	0.54	0.20		13.76
П	H	L	1.00193	L	0.3607	11.77	2.15	15.70	29.62	10.54	1.50	0.41	5.00	6.91					13.19
	0	0	1.00192		0.3468	11.66	2.14	15.73	29.53	10.11	1.48	0.41	5.01	6.90	7				12.65
	+		1.00192		0.3335	11.55	2.13	15.76	29.44	9.69	1.47	0.41	5.02	96.90				36.86	12.13
18年目 H 52	+		1.00192		0.3207	11.45	2.11	15.79	29.35	9.29	1.46	0.40	5.03	6.89					11.63
T	53 0.99059	9 0.99322	1.00191	0.99352	0.3083	11.34	2.10	15.82	29.26	8.90	1.44	0.40	5.04	90.8	2.09	0.52	0.16	36.66	10.15
27年日 日 25	+	L		0.99347	0.2303	11 13	20.0	15.88	29.17	0.00	141	0.40	5.00	0.0					10.70
22年目 H;	╁	L			0.2741	11.02	2.05	15.91	28.98	7.84	1.40	0.39	5.07	98.9					9.83
Ξ	0	2	Γ		0.2636	10.91	2.04	15.94	28.89	7.52	1.39	0.39	5.08	98.9	l l				9.43
	58 0.9901:	3 0.99298	1.00189	0.99330	0.2534	10.81	2.03	15.97	28.80	7.20	1.37	0.39	5.09	6.85	5 1.71	0.50	0.13		9.04
I	0		_		0.2437	10.70	2.01	16.00	28.71	6.91	1.36	0.38	5.10	6.84	1.65				8.67
26年目 H (+	~ (1.00189		0.2343	10.59	2.00	16.03	28.62	6.62	1.35	0.38	5.11	6.84				35.95	8.31
2/年日 日 62	67 0 00 073	0.99283	1.00188	0.99316	0.2253	10.49	1.98	16.06	28.53	6.34	1.33	0.38	5.12	0.8		0.49		35.85	7.97
I	╁	7 -	1.00188	┸	0.2100	10.30	1.97	16.09	20.44	0.00	1.32	0.30	2.13	0.0	1 40		0.0		7.04
30年目 日 67			1.00187	L	0.2003	10.17	1.90	16.15	28.26	5.59	1.29	0.37	5.15	6.81					7.03
31年目 H 65			1.00187		0.1926	10.06	1.93	16.18	28.17	5.35	1.28	0.37	5.16	6.80	-	0.48		35.45	6.74
32年目 H 66			1.00187		0.1852	9.95	1.91	16.21	28.08	5.13	1.27	0.37	5.17	6.80	1.24			35.35	6.46
	0		1.00186		0.1780	9.85	1.90	16.24	27.99	4.92	1.25	0.36	5.18	6.75	1.19	0.47			6.19
Τ	68 0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.1646	9.74	1.88	16.27	27.90	4./1	1.24	0.36	5.19	6.78	1.15	0.47	0.08	35.15	5.94
36年目 H 70	╀	L	1.00185	┖	0.1583	9.53	1.86	16.33	27.71	4.33	1.21	0.35	5.20	6.77					5.46
	0	7	1.00185	Ц	0.1522	9.45	1.84	16.36	27.62	4.15	1.20	0.35	5.21	6.76				34.85	5.23
	\dashv		1.00185		0.1463	9.31	1.83	16.39	27.53	3.98	1.18	0.35	5.22	6.76					5.02
39年目 H 73	0	4	1.00184		0.1407	9.21	1.81	16.42	27.44	3.81	1.17	0.35	5.23	6.75				34.65	4.81
	75 0.98813	3 0 99203	1.00184	0.99249	0.1333	9.10	1 78	16.48	92.72	3.50	1 14	0.34	5.24	6.74	0.90	0.43	0.00		4.01
42年目 H.	╁	ı	1.00183	L	0.1251	8 89	177	16.51	27.17	3.35	1.13	0.34	5.26	6.73				34.34	4 24
43年目 H 77	77 0.98785	ı	1.00183	L	0.1203	8.78	1.76	16.54	27.08	3.21	1.12	0.34	5.27	6.72	0.80	0.44			4.07
	H		1.00183	Ц	0.1157	8.67	1.74	16.57	26.99	3.08	1.10	0.33	5.28	6.72					3.90
Ι:	+		1.00182	\perp	0.1112	8.57	1.73	16.60	26.90	2.95	1.09	0.33	5.29	6.71					3.74
Ξ:	+		1.00182		0.1069	8.46	1./1	16.64	26.81	2.83	1.08	0.33	5.30	6.70					3.58
4/年日 日 2	81 0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1028	8.35	1./0	16.67	26.72	2./1	1.06	0.32	5.31	6.70	0.68	0.42	0.04	33.84	3.43
Ξ	ł	Ш	1.00181	Ш	0.0951	8.14	1.67	16.73	26.54	2.49	1.04		5.33	6.68					3.16
盂	H	Ц				534.29	100.84	792.76	1,427.88	415.98	67.95		252.63	339.85	5	24.87		-	520.76

路線名	箇所名	車線数	延長	
大野油坂道路	和泉·油坂区間	2	15.5km	

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費	76				50,590	
	改良費	No.			7,430	
		±Ι	m3	1,777,168	3,295	切土(413,960m3)、盛土(452,974m3)、捨土(911,984m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	96,507	1,055	切土法面、盛土法面
		雪崩予防柵	m	180	87	
		擁壁工	式	1	229	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m			
		函渠工	式	1	12	
		排水工	式	1	2,477	
		中央分離帯工	m	7,319	266	
		雑工	式	1	9	
	橋梁費				15,370	
		100m以上	m	2,364	13,799	
		100m未満	m	339	1,571	
	トンネル登	ŧ			26,540	
		NATM	m	10,133	26,540	
		シールド	m			
	IC·JCT套	C·JCT費			788	
	IC	IC	箇所	2	788	変形ダイヤモンド型(1)、OFF・ONランプ(1)
		JCT	箇所			
	舗装費				345	
		車道舗装	m²	35,165	345	
		歩道舗装	m²			
付帯施設費				117		
		交通管理施設工	式	1	117	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
2用地及補償費				414		
用地費			m³	129,838	351	
		山林·原野	m³	121,397	225	
		田畑	m	7,422	119	
		畑(耕地あざ)	m²	1,019	8	
		宅地	m²			
	補償費		式	1	63	
3間接経費		式	1	8,466	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				59,471		

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用